

ちびっことコラム

3月6日は「啓蟄」

啓(けい)は「ひらく」、蟄(ちつ)は「土中で冬ごもりしている虫(蛙や蛇)」を意味し、大地が暖まり冬眠していた虫が、春の訪れを感じ、穴から出てくる頃を意味します。

この頃から春の山菜が並びはじめます。

見て、食べて、春の訪れを食を通じて感じてみてはいかがでしょうか。



(P.N. ミナフジコ)